

IIIFでの画像データの リンク生成の取り組み

京都大学附属図書館研究開発室

西岡 千文

第4回CODHセミナー デジタルアーカイブにおける画像公開の新しいトレンド
～IIIFが拓く画像アクセスの標準化と高度化～



京都大学
KYOTO UNIVERSITY



IIIFでのコンテンツの発表の難しさ

- 2017年5月 IIIF Adopters Survey
 - 100以上の機関が参加した調査
 - 約50機関がIIIF Image APIとPresentation APIを使用中
 - 335,000,000件以上のIIIFに対応した画像データが存在

<http://iiif.io/news/2017/05/25/newsletter/#iiif-adopters-survey>

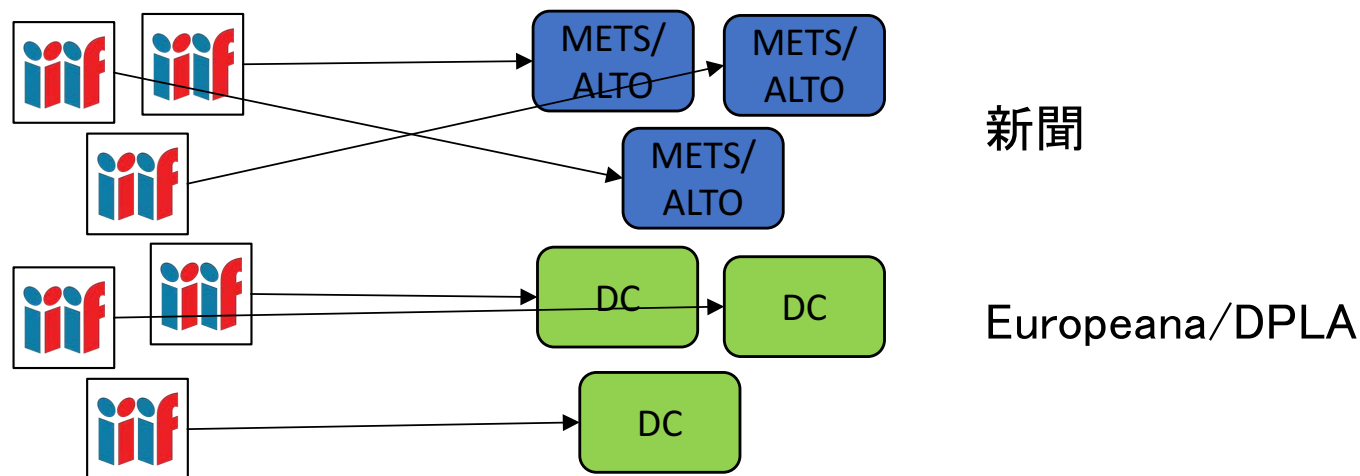
- 一般的な検索エンジン(e.g., Google)では、IIIFに対応した画像データを見つけることは不可能
- 2016年Q4 IIIF Discovery Group発足
 - クロールと収集
 - インデキシング

クロールと収集

- Goal: 全てのIIIFリソースのdescriptionを取得する
 - Image APIが提供する画像データ収集の必要はなし
 - Search APIでアノテーションは検索できるのでアノテーションは対象外
- クロールの手法については検討中
 - サイトマップ
 - IIIF Collections

インデキシング

- Presentation APIで与えられている情報のみでは、画像データに対する詳細な検索は不可能
- しかし、プロパティ”seeAlso”により、外部のメタデータを参照することは可能
- 各分野でどのようなメタデータフォーマットを使用しているか、どのようなメタデータフォーマットが適切か調査中



Musiclibsによるガイドライン

“Great instructions for data providers”として紹介

IIIFマニフェストは以下の情報を含むべき

- description
- metadata (label/valueのペア)
- ”related”を使用して、博物館・図書館の元のレコード
- ライセンス
- 機関のロゴ
- ”seeAlso”を使用して、機械可読なメタデータへのリンク

<https://musiclibs.net/about>

Europeanaによる調査

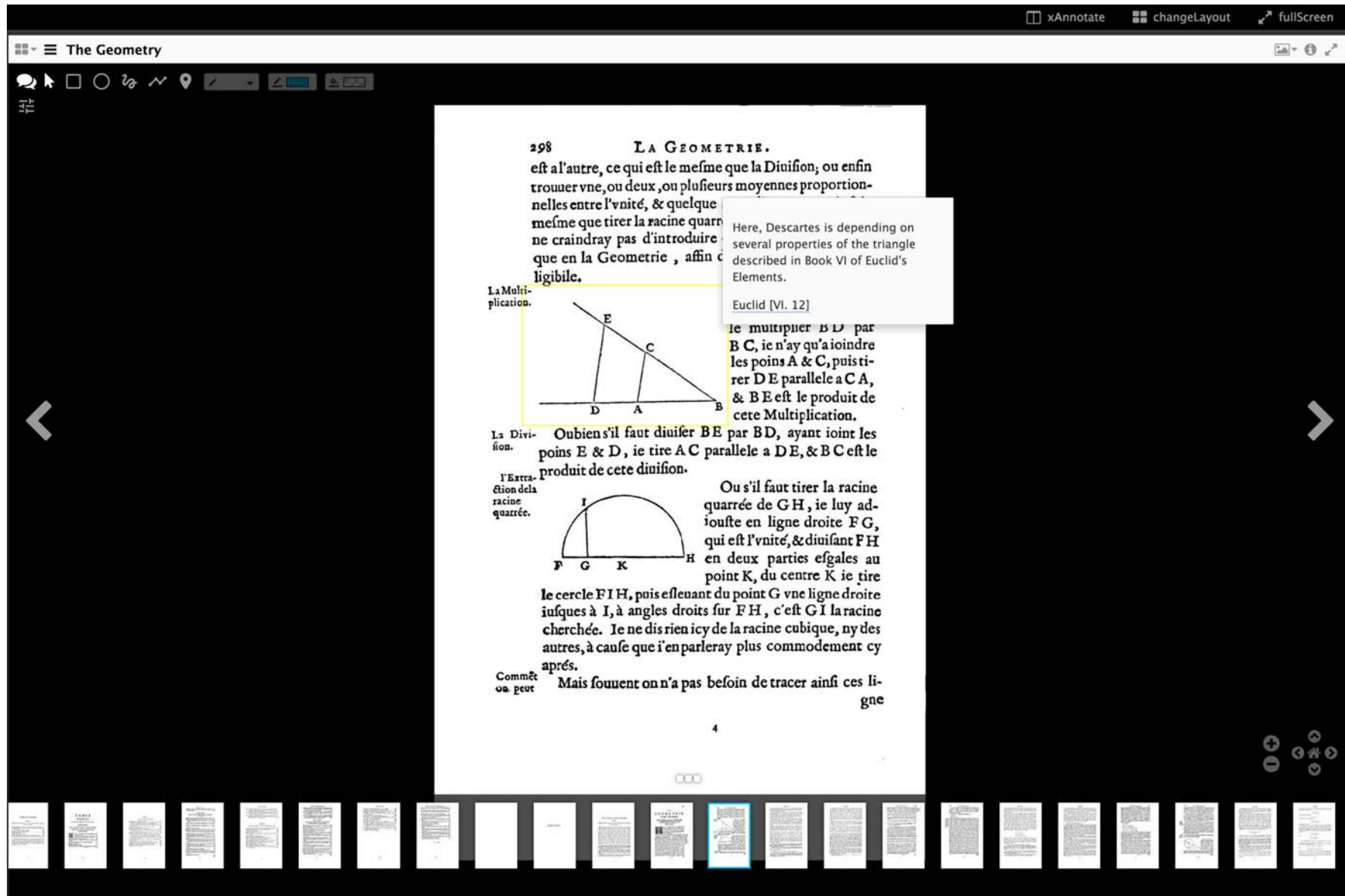
- メタデータ
 - プロパティ“seeAlso”により、メタデータへのリンクを可能にしている
 - しかし、あまり使用されていない
- 機械可読なライセンス情報
 - あまり使用されていない

Crosslink.js (開発中)

- Great Books of the Western World
 - 1952年にブリタニカ百科事典により編纂
 - 西欧世界の文学、数学、哲学など諸分野の著名な130人による517編を収めた大全集
 - 引用関係等の本の間の関係は整理されていない
 - Goal: Dissolve the boundaries between books
- **Crosslink.js (開発中)**
 - Miradorのプラグイン
 - Web Annotationを使用して、IIIFリソースを結ぶリンクを生成
 - 作成されたWeb AnnotationはPRAGMAというArchive Labのサービス(実験中)に保存
<https://pragma.archivelab.org>

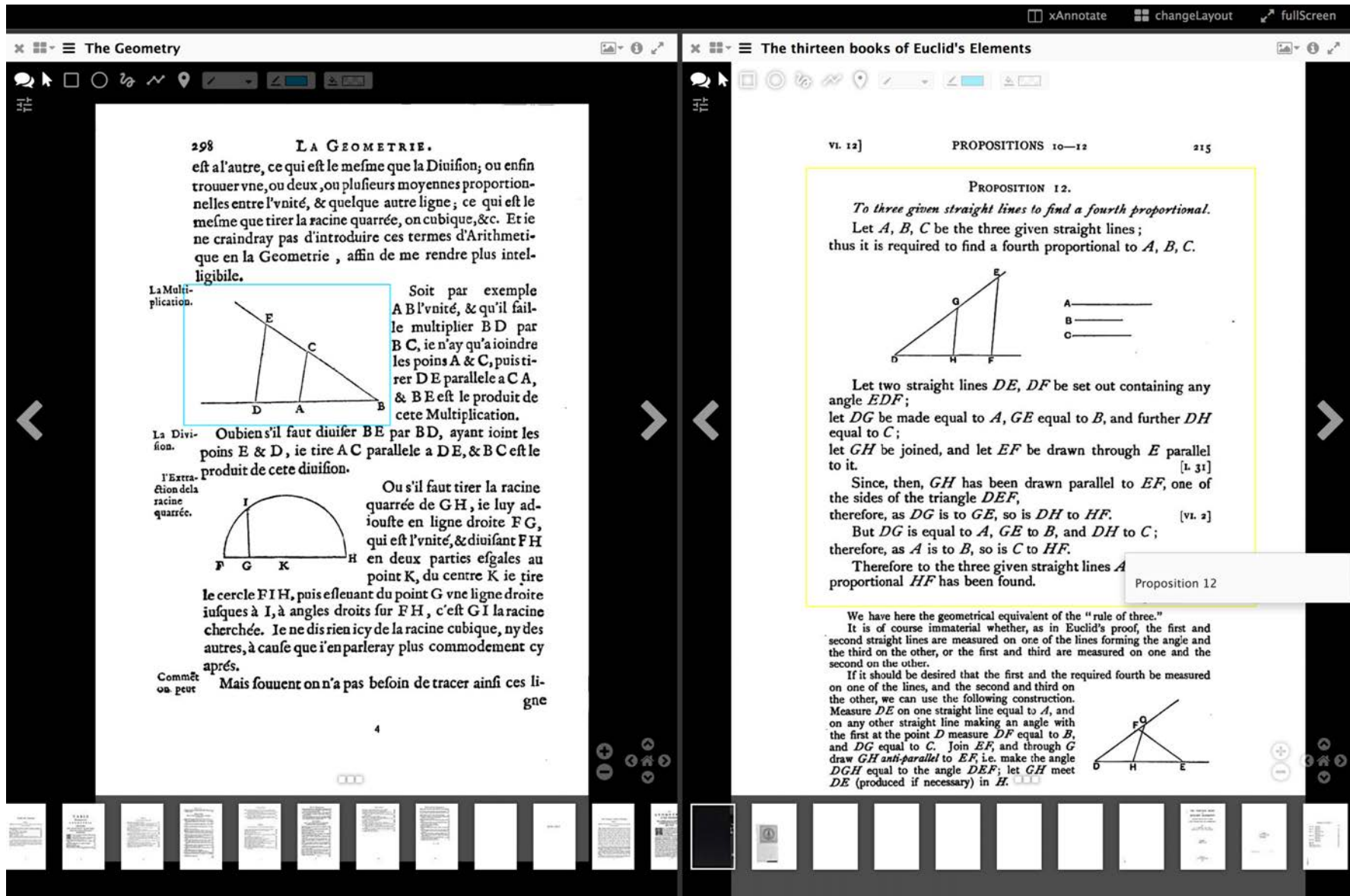
Crosslink.js 使用例

<http://iiif.archivelab.org/iiif/TheGeometry>



Crosslink.js 使用例

<http://iiif.archivelab.org/iiif/TheGeometry>



終